

あくせす

Access

九州旅客鉄道労働組合
大分地方本部

大分市大道町1丁目8番1号
097-543-2223

発行責任者 佐藤守洋
編集責任者 竹下功人



LINE@

JR九州労組公式アカウント

ID @yqw2478t



2021年は、十干が辛（かのと）で、十二支が丑（うし）ですので干支は辛丑（かのとうし）となります。辛丑（かのとうし）の年は緩やかな衰退、痛みを伴う幕引きと、新たな命の息吹がお互いに生かし合い、強め合うことを意味します。つまり、衰退や痛みが大きければ命の初動が大きくなり、息吹が大きければその分、草木が枯れ、新しくなろうとする。辛いことが多いだけ、大きな希望が芽生える年になることを指し示してると言えます。



大分地本委員長
佐藤 守洋

組合員、ご家族の皆さま、新年明けましておめでとうございます。本年もJR九州労組大分地方本部に對しましてご理解、ご協力をお願い申し上げます。

はじめに、昨年を振り返りますと、毎年のように発生する自然災害により、九州地方を襲った令和2年7月豪雨は、甚大な被害をもたらした。福岡、熊本、長崎、大分、鹿児島からの5県で77名の死者、2名の行方不明から大分県も大きな被害を受けました。亡くなられた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

そして、JR九州もこれまでに経験のない甚大な被害を受けており、17線区で駅舎の浸水や橋梁の流出、土砂流入や築堤崩壊など、730件の被害を受けました。特に被害が大きかった肥薩線、久大本線「豊後森〜庄内間」は、復旧まで相当の期間を要することから、バス代行による輸送を行うこととなりました。お客さま案内等で現地に於て対応された皆さまのご苦勞に、さらに、復旧、復興に向けて、日夜業務にあたっていらっしゃる皆さまに敬意を表します。

さて、新型コロナウイルスが中国「武漢」で確認をされ、瞬く間に感染拡大が世界に広まり、多くの国で、ロックダウンが実施され、世界経済が逼迫する事態となりました。日本においても4月7日、全国を対象とした緊急事態宣言が発令され、日常の通勤、通学や観光、レジャーなどの人の移動も制限され、諸外国に対しても、出入国制限も加わり、あらゆる企業が大きな打撃を受けることとなりました。政府も、感染拡大防止に向けて対策を講じる中で、経済活動にも力点を置き、GOTOトラベルキャンペーンをはじめ、各自治体が発行をする「地域クーポン券」などの活用により、経済回復の兆しが見えてきました。ご承知のとおり、人の動きにより感染者が増え、医療現場では崩壊の危機に見舞われております。緊急事態宣言が、いつ発令されてもおかしくない事態となっており、菅総理は、12月28日〜1月11日の間、感染拡大を防ぐために、GOTOトラベルキャンペーン中止を決定し、静かな年末年始を過ごすよう呼び掛けています。再び経済活動が止まる事態は、未曾有の難局に直面することとなります。労働組合の使命である雇用の確

保はもろんのこと、JR産業界で働く仲間と連携をし、雇用調整助成金などの特例措置の延長や、減免措置の軽減などを求めて、政党ならびに各省庁要請行動など継続して取り組んでいきたいと考えています。

そして、年末手当支給については、過去最低「1.2ヵ月分」で、妥結することとなりました。会社の厳しい経営状況は理解しつつも、株主上場を果たしたJR九州がなぜ、最低額なのか組合員の不満の声は止まりません。ボーナスで支払う予定の各種ローンを払えない事態にもなりました。会社は、貸付制度を設置して対応を図っていますが、組合員の期待に応えられなかった結果に、深くお詫びを申し上げます。

以上のような情勢の中で、四点について問題提起をさせて頂きます。

はじめに、安全問題についてであります。私たちは過去の重大事故や重大労災を教訓に、すべての事業において安全を確保し、人命を守ることに重要性について取り組んでまいりました。しかしながら、今年度も死亡事故・労災事故は増加しており、尊い命が奪われております。今一度、課題を明確にして、危機意識を強く持つ行動展開を図り、グループ会社と一体となり、安全最優先の確立に向けて取り組んで行きます。

さらに、安全衛生委員会についても、新型コロナウイルスに対する感染防止対策を徹底し、マスク、消毒剤等の確保をはじめ、安心して働ける職場となるよう、引き続き、協議を継続して行くこととします。

次に、業務関係についてです。2021年3月ダイヤ改正及び下期効率化施策等について、概要提案、詳細提案を受けました。12月14日に開催をした、各級機関会議で内容等について説明をしたところであり、また、下期効率化施策等については、大分鉄道事業部に業務センターを設置し、車掌及び運転士に係る業務体制の見直しを行う。営業職場、施設職場においても業務体制の見直しが提案されています。関係職場においては、意見集約を行い、新年早々にはなりますが、地に提出をお願いいたします。

次に組織関係についてです。本部組織財政委員会が議論が継続されていますが、組合員の減少に歯止めが掛からないことから、経費削減を第一に財政確立に取り組んでいきます。議論された内容については、改めて報告することとしますが、大分地本も組織財政委員会を設置し、組織体制等の見直しについて、議論を進めています。将来を担う、各分会役員については、議論を継続され、8月の定期大会で承認が得られますよう取り組んで行きます。

次に2021春闘についてです。労働者において、賃金改善こそが最大の労働条件向上であり、連合及びJR連合方針に基づき、また同時期に要求を掲げる夏季手当についても、決定される方針のもとで、全力で取り組んで行きます。

最後に、本年は、衆議院議員選挙ならびに大分市議会議員選挙改選の年であります。推薦候補者の当選を勝ち取るために、選挙体制を確立して行きます。そして、東京オリンピックが開催出来るか深刻な状況ではありますが、コロナウイルス終焉に向けて、最善を尽くして行きます。

本年も、組合員、ご家族の皆さまが、素晴らしい年となりますことをご祈念申し上げ、新年のご挨拶と致します。

<p>本年も、よろしく お願い致します。</p>	大分地方本部 執行委員長 佐藤 守洋 執行副委員長 鬼塚 誠治 書記長 遠藤 晃元 執行委員 川崎 淳史 執行委員 難波 悟 執行委員 小野 健介 執行委員 為末 恵民 執行委員 山元 浩二 執行委員 竹下 功人 執行委員 大場 信一 特別執行委員 高良 勇太 特別執行委員 田島 綾乃 会計監査 中野 啓蔵 職員 後藤 優子 職員 竹内 まゆみ
------------------------------	--